



公明党 長谷部 竜作 議員

人口減少対策について

問 現在のペースで人口が減少した場合、どのような状況をもたらすのか、市長の考えはどうか。

答 市長 平成18年から平成30年の人口減少率は、大網白里市マイナス1・8%、東金市マイナス3・4%、山武市マイナス13・9%となっており、人口減少が進むと、市税収入の減少や地域活力の低下が危惧され、行政運営がさらに厳しい状況になると見込まれます。

通勤環境の整備について

問 都内直通高速バスと、その停留所に利用者のための駐車場を整備し、パークアンドライド方式による通勤環境の利便性向上を図ってはどうか。

答 総務部長 バス運行事業者に



JR日向駅



JR松尾駅

よる事業計画や既存運行ダイヤの集客にも影響があると考えられますので、慎重に検討していきます。また、駐車場については、直行便とセットでの整備を想定しているため、必要規模を精査した上で、検討していきます。

問 鉄道での通勤環境向上の為に、日向駅の基幹バス停留所とホームに、屋根を設置してはどうか。

答 総務部長 駅ホームへの屋根の設置については、国やJRへ要望をしていきます。停留所等への屋根の設置については、駅前広場の利用状況を精査して考えていきます。

問 駅の利便性向上の為に、駅の両側を行き来できる自由通路を設置してはどうか。

答 総務部長 日向駅については周辺の土地利用と共に、慎重に検討していきます。

松尾駅については、駅舎の橋上化とあわせて、自由通路の整備を検討したところ、震災復興やオリンピック等による建設費の増加のため、現在、その推移を注視しています。

空港圏勤務者の移住対策について

問 現在市在住で成田空港関連企業に勤務されている方の人数はどうか。

答 総務部長 成田空港株式会社が行った調査によると、630人となっております。

問 4万人とも言われる雇用の中で、630人というのはいかにも少ないと感じる。成田空港の機能強化により、現在約4万人の空港関連の雇用が7万人に増えると予想されているが、増える3万人に対し、市にも居住していただけるよう対策を考えるべきだと思いがどうか。

答 市長 増加する空港勤務者の受け皿ということができれば、人口減少に對しての抑えとなると私も捉えて

います。このチャンス逃さぬよう取り組んでいきたいと思っております。

問 移住・定住促進のために、SNSを利用したシティセールスを行うてはどうか。その際、インフルエンサーマーケティングを重視して取り組んでいただきたいがどうか。

答 総務部長 市がシティセールスを目的として、SNSの利用をしているということは、現在はありません。導入に向けて、前向きに取り組んでいきたいと考えています。

また、インフルエンサーと呼ばれる多くの人に影響を与える専門の方がいることは、承知しています。ただし、市が発信する内容や呼びかけを行いたい対象によって、その専門家をどう活用するかを検討する必要があると考えています。



問 行政だけではなく、周りを巻き込み、官民協力してオール山武市で、我がまちをより魅力のあるまちへ変えていくべきだと考えますが、市長の考えはどうか。

答 市長 人口減少対策は、行政だけでは解決できない大きな問題です。市全体で1つになり、ともに手を携え、協力しながら、この大きな課題に立ち向かっていきたいと考えています。